

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 橋高 公久 (TEL) 03-5572-0233
 ジェネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	567,013	△14.5	246,787	△28.8	258,847	△29.8	45,485	△48.7
27年3月期第2四半期	663,140	1.9	346,731	0.7	368,497	5.1	88,747	10.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期△18,603百万円(-%) 27年3月期第2四半期 127,577百万円(△22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	31.15	—
27年3月期第2四半期	60.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,521,673	3,330,017	67.5
27年3月期	4,499,153	3,288,703	68.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期3,053,004百万円 27年3月期3,066,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,069,000	△8.7	418,000	△21.9	434,000	△24.5	70,000	△10.0	47.93	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	1,462,323,600株	27年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,966,400株	27年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	1,460,357,200株	27年3月期2Q	1,460,357,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3,600.00	—	3,600.00	7,200.00
28年3月期	—	3,600.00			
28年3月期(予想)			—	3,600.00	7,200.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は油価及びガス価が下落したことにより、売上高は、前年同期比961億円、14.5%減の5,670億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比407億円、9.3%減の3,968億円、天然ガス売上高は前年同期比534億円、24.7%減の1,633億円となりました。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比17,757千バレル、44.3%増の57,805千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比8,577百万立方フィート、5.6%増の160,634百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比9,546百万立方フィート、7.8%増の131,909百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比26百万立方メートル、3.3%減の770百万立方メートル、立方フィート換算では28,725百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり56.52米ドルとなり、前年同期比49.23米ドル、46.6%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり7.23米ドルとなり、前年同期比5.55米ドル、43.4%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり54円72銭となり、前年同期比2円42銭、4.2%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル121円33銭となり、前年同期比18円51銭、18.0%の円安となりました。

売上高の減少額961億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により2,027億円の増収、平均単価の下落により3,755億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより786億円の増収、その他の売上高が18億円の減収となりました。

一方、売上原価は、主に為替が円安に推移したことにより、前年同期比157億円、6.1%増の2,735億円、探鉱費は主に米州地域での探鉱活動が減少したことにより、前年同期比114億円、73.6%減の40億円、販売費及び一般管理費は前年同期比4億円、1.1%減の425億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比999億円、28.8%減の2,467億円となりました。

営業外収益は、有価証券売却益が増加したこと等により、前年同期比96億円、32.1%増の398億円となりました。営業外費用は生産物回収勘定引当金繰入額が増加したこと等により、前年同期比193億円、230.1%増の278億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比1,096億円、29.8%減の2,588億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比584億円、21.0%減の2,195億円となり、四半期純利益は前年同期比512億円、56.6%減の393億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純損失は61億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比432億円、48.7%減の454億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

販売数量の減少及び油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比76億円、13.0%減の511億円となり、営業利益は前年同期比57億円、74.5%減の19億円となりました。

②アジア・オセアニア

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比611億円、26.7%減の1,676億円となり、営業利益は前年同期比587億円、48.8%減の615億円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価の下落により、売上高は前年同期比203億円、33.1%減の411億円となり、営業利益は前年同期比138億円、53.0%減の122億円となりました。

④中東・アフリカ

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価の下落により、売上高は前年同期比74億円、2.4%減の3,004億円となり、営業利益は前年同期比253億円、12.4%減の1,799億円となりました。

⑤米州

油価・ガス価は下落したものの、原油販売数量の増加及び為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比4億円、7.7%増の67億円となり、探鉱費の減少等により、営業損失は前年同期比38億円、50.1%減の37億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4兆5,216億円となり、前連結会計年度末の4兆4,991億円と比較して、225億円の増加となりました。流動資産は9,598億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して3,825億円の減少となりました。固定資産は3兆5,618億円で、有形固定資産及び無形固定資産の増加等により前連結会計年度末と比較して4,050億円の増加となりました。

一方、負債は1兆1,916億円となり、前連結会計年度末の1兆2,104億円と比較して187億円の減少となりました。このうち流動負債は3,532億円で、前連結会計年度末比120億円の減少、固定負債は8,384億円で、前連結会計年度末比67億円の減少となりました。

純資産は3兆3,300億円となり、前連結会計年度末比413億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆5,788億円で、前連結会計年度末比293億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は4,741億円で、前連結会計年度末比430億円の減少、非支配株主持分は2,770億円で、前連結会計年度末比549億円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,609億円から当第2四半期中に減少した資金1,700億円を差し引いた909億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比215億円減の976億円となりました。これは主に、油価及びガス価の下落により税金等調整前四半期純利益及び法人税等の支払額が減少したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比1,988億円増の3,131億円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入の増加や長期預金の預入による支出の減少があったものの、長期貸付けによる支出や権益取得による支出が増加したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比437億円増の469億円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が減少したものの、非支配株主からの払込みによる収入が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想については、平成28年3月期第2四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成27年8月7日に公表の数値から下記のとおりの修正を行いました。

通期連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,181,000	471,000	479,000	70,000
今回修正予想(B)	1,069,000	418,000	434,000	70,000
増減額(B-A)	△112,000	△53,000	△45,000	—
増減率(%)	△9.5	△11.3	△9.4	—

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	第1四半期実績	63.5ドル/バレル	上期(実績)	57.3ドル/バレル
	第2四半期以降	60.0ドル/バレル	下期	50.0ドル/バレル
	通期平均	60.9ドル/バレル	通期平均	53.7ドル/バレル
為替 (対米ドル)	第1四半期実績	121.4円/ドル	上期(実績)	121.9円/ドル
	第2四半期以降	120.0円/ドル	下期	120.0円/ドル
	通期平均	120.4円/ドル	通期平均	120.9円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が3,014百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	922,683	641,631
受取手形及び売掛金	77,209	100,856
有価証券	162,289	73,169
たな卸資産	31,652	32,718
その他	161,481	124,587
貸倒引当金	△12,905	△13,101
流動資産合計	1,342,409	959,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,010	130,311
坑井(純額)	36,391	61,264
機械装置及び運搬具(純額)	109,686	150,356
土地	19,869	19,929
建設仮勘定	1,173,409	1,301,633
その他(純額)	20,254	19,569
有形固定資産合計	1,497,621	1,683,065
無形固定資産		
のれん	74,319	70,939
その他	384,450	517,004
無形固定資産合計	458,769	587,943
投資その他の資産		
投資有価証券	284,090	236,349
生産物回収勘定	703,291	747,817
その他	345,803	456,781
貸倒引当金	△8,398	△8,347
生産物回収勘定引当金	△121,707	△139,491
探鉱投資引当金	△2,727	△2,305
投資その他の資産合計	1,200,352	1,290,803
固定資産合計	3,156,743	3,561,812
資産合計	4,499,153	4,521,673

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,474	53,583
短期借入金	33,206	39,604
未払法人税等	60,185	47,679
探鉱事業引当金	9,492	10,345
役員賞与引当金	70	34
資産除去債務	1,093	404
その他	207,690	201,553
流動負債合計	365,212	353,203
固定負債		
長期借入金	643,951	622,479
事業損失引当金	9,080	9,057
特別修繕引当金	227	243
退職給付に係る負債	6,700	6,552
資産除去債務	105,234	111,449
その他	80,044	88,671
固定負債合計	845,238	838,452
負債合計	1,210,450	1,191,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	676,273
利益剰余金	1,584,645	1,616,987
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,549,494	2,578,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,049	19,713
繰延ヘッジ損益	△36,423	△27,216
為替換算調整勘定	507,560	481,685
その他の包括利益累計額合計	517,185	474,182
非支配株主持分	222,023	277,012
純資産合計	3,288,703	3,330,017
負債純資産合計	4,499,153	4,521,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	663,140	567,013
売上原価	257,826	273,549
売上総利益	405,313	293,463
探鉱費	15,508	4,093
販売費及び一般管理費	43,074	42,582
営業利益	346,731	246,787
営業外収益		
受取利息	5,388	4,294
受取配当金	2,260	2,508
有価証券売却益	4,645	11,488
持分法による投資利益	7,971	—
為替差益	5,302	9,166
その他	4,622	12,409
営業外収益合計	30,191	39,868
営業外費用		
支払利息	1,233	2,188
持分法による投資損失	—	937
生産物回収勘定引当金繰入額	4,902	18,022
探鉱事業引当金繰入額	1	1,650
その他	2,287	5,010
営業外費用合計	8,425	27,808
経常利益	368,497	258,847
税金等調整前四半期純利益	368,497	258,847
法人税、住民税及び事業税	278,365	212,782
法人税等調整額	△388	6,745
法人税等合計	277,976	219,527
四半期純利益	90,520	39,320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,773	△6,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,747	45,485

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	90,520	39,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△26,334
為替換算調整勘定	46,702	△41,045
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,564	9,455
その他の包括利益合計	37,057	△57,923
四半期包括利益	127,577	△18,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,874	2,482
非支配株主に係る四半期包括利益	△296	△21,085

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	368,497	258,847
減価償却費	25,635	35,109
のれん償却額	3,380	3,380
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	7,231	19,003
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△1,363	928
その他の引当金の増減額(△は減少)	△371	50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	54
受取利息及び受取配当金	△7,649	△6,803
支払利息	1,233	1,399
為替差損益(△は益)	2,038	1,267
持分法による投資損益(△は益)	△7,971	937
有価証券売却損益(△は益)	△4,645	△11,488
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	36,663	26,842
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△33,158	△29,387
売上債権の増減額(△は増加)	△3,075	△28,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,609	1,279
仕入債務の増減額(△は減少)	7,798	2,283
その他	△5,742	35,570
小計	383,939	310,654
利息及び配当金の受取額	12,803	15,056
利息の支払額	△1,186	△1,313
法人税等の支払額	△276,307	△226,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,249	97,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△142,565	△226,842
定期預金の払戻による収入	318,297	484,829
長期預金の預入による支出	△112,181	△63,818
有形固定資産の取得による支出	△228,017	△243,944
有形固定資産の売却による収入	28	194
無形固定資産の取得による支出	△2,475	△11,550
有価証券の売却及び償還による収入	89,052	103,025
投資有価証券の取得による支出	△20,036	△6,491
投資有価証券の売却及び償還による収入	44,010	27,700
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△38,626	△40,265
短期貸付金の増減額(△は増加)	△3,009	272
長期貸付けによる支出	△2,110	△192,535
長期貸付金の回収による収入	92	299
権益取得による支出	△17,873	△133,627
その他	1,128	△10,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,287	△313,102

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	572	179
長期借入れによる収入	11,797	—
長期借入金の返済による支出	△6,830	△13,083
非支配株主からの払込みによる収入	14,887	77,000
配当金の支払額	△13,144	△13,144
非支配株主への配当金の支払額	△3,939	△3,939
その他	△90	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,253	46,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,331	△1,588
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	11,546	△170,007
現金及び現金同等物の期首残高	117,530	260,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	129,077	90,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	58,754	228,806	61,466	307,829	6,282	663,140	—	663,140
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	58,754	228,806	61,466	307,829	6,282	663,140	—	663,140
セグメント利益又は損失(△)	7,700	120,353	26,107	205,266	△7,591	351,836	△5,104	346,731

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,104百万円は、セグメント間取引消去105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,210百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	51,110	167,608	41,103	300,425	6,765	567,013	—	567,013
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	51,110	167,608	41,103	300,425	6,765	567,013	—	567,013
セグメント利益又は損失(△)	1,964	61,597	12,260	179,911	△3,788	251,945	△5,157	246,787

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,157百万円は、セグメント間取引消去101百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,259百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
日本	原油	0.5百万バレル (日量2.9千バレル)	0.5百万バレル (日量2.8千バレル)
	天然ガス	19.1十億CF (日量104.4百万CF)	18.5十億CF (日量101.3百万CF)
	小計	4.1百万BOE (日量22.5千BOE)	4.0百万BOE (日量21.9千BOE)
	ヨード	239.5t	249.1t
	発電	111.4百万kWh	108.6百万kWh
アジア・オセアニア	原油	6.3百万バレル (日量34.6千バレル)	8.9百万バレル (日量48.5千バレル)
	天然ガス	122.5十億CF (日量669.5百万CF)	130.4十億CF (日量712.5百万CF)
	小計	29.4百万BOE (日量160.9千BOE)	33.4百万BOE (日量182.4千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	4.6百万バレル (日量25.2千バレル)	5.9百万バレル (日量32.1千バレル)
中東・アフリカ	原油	30.4百万バレル (日量166.0千バレル)	44.6百万バレル (日量243.5千バレル)
米州	原油	0.4百万バレル (日量2.4千バレル)	1.4百万バレル (日量7.5千バレル)
	天然ガス	18.3十億CF (日量99.9百万CF)	16.6十億CF (日量90.9百万CF)
	小計	3.7百万BOE (日量20.1千BOE)	4.3百万BOE (日量23.6千BOE)
合計	原油	42.3百万バレル (日量231.0千バレル)	61.2百万バレル (日量334.4千バレル)
	天然ガス	159.9十億CF (日量873.8百万CF)	165.6十億CF (日量904.7百万CF)
	小計	72.2百万BOE (日量394.7千BOE)	92.1百万BOE (日量503.5千BOE)
	ヨード	239.5t	249.1t
	発電	111.4百万kWh	108.6百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。
 2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から9月30日の実績となっております。
 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第2四半期連結累計期間は原油57.5百万バレル(日量314.5千バレル)、天然ガス208.1十億CF(日量1,137.3百万CF)、合計96.7百万BOE(日量528.4千BOE)、当第2四半期連結累計期間は原油72.3百万バレル(日量395.0千バレル)、天然ガス214.7十億CF(日量1,173.0百万CF)、合計112.5百万BOE(日量614.7千BOE)となります。
 5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	404千バレル	4,578	290千バレル	2,171
	天然ガス (LPGを除く)	29,694百万CF	45,465	28,725百万CF	42,121
	LPG	2千バレル	22	3千バレル	17
	その他		8,687		6,800
	小計		58,754		51,110
アジア・オセアニア	原油	5,683千バレル	63,625	6,837千バレル	48,773
	天然ガス (LPGを除く)	103,482百万CF	154,272	114,556百万CF	113,299
	LPG	1,358千バレル	10,908	1,165千バレル	5,535
	小計		228,806		167,608
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	5,538千バレル	61,466	6,028千バレル	41,103
中東・アフリカ	原油	28,409千バレル	307,829	43,963千バレル	300,425
米州	原油	15千バレル	153	687千バレル	4,419
	天然ガス (LPGを除く)	18,880百万CF	6,129	17,353百万CF	2,346
	小計		6,282		6,765
合計	原油	40,048千バレル	437,653	57,805千バレル	396,892
	天然ガス (LPGを除く)	152,056百万CF	205,868	160,634百万CF	157,767
	LPG	1,361千バレル	10,930	1,168千バレル	5,553
	その他		8,687		6,800
	合計		663,140		567,013

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から6月の業績を第2四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
ADNOC	—	—	101,816	18.0